

空手道部

前号に続いて、1月27日(土)・28日(日)に和歌山ビッグホエールで行われた第37回近畿高等学校空手道大会の組手の結果についてお知らせします。

団体組手の1回戦は、滋賀県立安曇川に、4対1で勝利しました。

続く2回戦の相手は、団体形でも対戦した大阪学芸。2対2で迎えた大将戦も同点となりました。

同点の場合は引き分けではなく、先取点を取ったほうを勝ちとするルールになっており、残念ながら2対3で敗れてしまいました。

大阪の強豪校とはいえ、団体の形と組手の両方ともに同じ学校に敗れたことは残念で、この悔しさを糧に稽古に励んでくれることでしょう。

個人組手に出場した尾花和哉(2年神戸市立魚崎中)は、1回戦関西大学北陽(大阪)の佐々木選手、

2回戦奈良県立奈良朱雀の松本選手、準決勝で京都外大西の富永選手に勝利して決勝に進みました。

決勝では、またもや京都外大西の選手である武田選手と対戦し、惜しくも敗れて、2位という結果になりました。

尾花君は、3月26日(月)28日(水)に高松総合体育館で行われる第37回全国高等学校空手道選抜大会に出場することになりました。

【登録選手】2年佐藤夕雅(尼崎市立大庄中)、辰巳虎寛(川西市立清和台中)、尾花和哉、徳田育巳(神戸市立雲雀丘中)、松井陽太(同渚中)、西原健人(同玉津中)、小西翔太(尼崎市立日新中)、山路雅也(西宮市立平木中)

壮行会

2月5日(月)の全校集会の後に、全国大会に出場する生徒の壮行会が行われました。

第40回全国高等学校柔道選手権大会に出場する60kg級の頭徳大晴(2年明石市立望海中)と、73kg級の高橋寛多(2年小野市立小野中)の2名。

続いて第37回全国高等学校空手道選抜大会の男子個人組手+68キログラム級の尾花和哉。この3名が全国大会に出場します。

柔道部の頭徳君は、昨年の同大会で1年生ながら3位に入賞しています。

3名ともに大活躍して、全国に神港学園の名を広



美術部

く知らしめてほしいと思います。

第57回兵庫県私立学連合美術展において、2年北口奈美(神戸市立烏帽子中)が、優秀賞を受賞しました。題名は「ひとやすみ」で、この優秀賞には県下で3名だけが選ばれています。

集合住宅に囲まれた、小さな公園にある遊具と夏の暑い日にのどを潤す飲料用の蛇口が巧みな遠近法で描かれています。



ちょっと一言 時速 150 キロのボールは、バッテリー間を 0.45 秒で通過する。脳が体に命令を下してから実際に体が動くまでの神経の反応時間には、約 0.3 秒弱かかる。脳が「打て」と命令して実際にスイングを完了するまでには合計で 0.5 秒かかる。理論的には 150 キロのボールを打つことはできない。しかし、プロのバッターは、それ以上の速さのボールをホームランする。これは、ボールを見ている情報と同時に今までに蓄えたイメージの情報を使って打っているのだ。バッティングの達人は、過去に成功したイメージの情報を膨大に蓄えているのである。成功した良いイメージを蓄積して達人になろう。